



THE BIG ISSUE Support Live vol.7

2016年10月2日(日) 東京 外苑前 **梅窓院 祖師堂** そしどう

開場 13:30 / 開演 14:00 / 前売:2,500円 / 当日:3,000円 (BIG ISSUE代 350円含)

寺尾紗穂 / マヒトウ・ザ・ピーポー / ソケリッサ! / 原田郁子 / 知久寿焼 / 二階堂和美

座談会 テーマ:「生きること、表現すること」/ 寺尾紗穂、稲葉剛、吉水岳彦、佐野未来、星野智幸、アオキ裕キ、ビッグイシュー販売者、他
炊き出し / 簡単な食事やコーヒーも用意してます

お問合せ・チケット予約(メールのみ): singwithyourneighbors@gmail.com ※梅窓院(会場)へのお問合せはご遠慮ください。

〒107-0062 東京都港区南青山2丁目26-38 梅窓院 祖師堂 東京メトロ銀座線 外苑前駅下車 1a出口 徒歩1分

HP: <http://singwithyourneighbors2016.jimdo.com> ※駐車場はございません。お車での来場はお控ください。

主催:「THE BIG ISSUE」Support Live vol.7実行委員会 協力:有限会社ビッグイシュー日本/認定NPO法人ビッグイシュー基金/認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい/社会福祉委員会ひとさじの会/浄土宗 梅窓院

「THE BIG ISSUE」を知っていますか？

ホームレスの人が販売者となり、売り上げの6割ほどがその人の収入になる仕組の雑誌「THE BIG ISSUE」。ホームレスは怠け者、と思ってる人も思っていない人も、ビッグイシューを知らない人も知ってても買う一歩が踏み出せない人も、魅力的なこの雑誌をとにかく一度読んでみて欲しい！そんな思いから出発したイベントです。

会場には若い音楽ファンはもちろん、ビッグイシューの販売者さんもいます、元野宿のおじいちゃんもいます、そういう人びとを支える活動を担ってきた人たちもいます。ぜひ一緒に音楽を楽しみ、一緒に考えましょう。あなたと一緒に明日を謳えたらこんなに嬉しいことはありません。



寺尾紗穂

1981年11月7日東京生まれ。2007年ピアノ弾き語りによるアルバム「御身」が各方面で話題になり、坂本龍一や大貫妙子らから賛辞が寄せられる。

大林豊彦監督作品「転校生 さよならあなた」(2007)、安藤桃子監督作品「0.5ミリ」(安藤サクラ主演・2014)、中村真夕監督作品「ナオトひとりきり」(2015)に主題歌を提供しているほかCMやナレーション、エッセイやルポなどの分野でも活躍。

2015年3月にアルバム「橋の夢」を発表。

路上生活経験者による舞踏グループ、ソケリッサとの全国13箇所をまわる「橋の夢ツアー」を行う他、2010年より毎年青山梅窓院にてビッグイシューを応援する音楽イベント「りんりんふえす」を主催。

著書に「野丘 川島芳子」(文春新書)、「原発労働者」(講談社現代新書)、戦前のサイパンに暮らした人々に取材した「南洋と私」(リトルモア)などがある。

現在は本の雑誌社ウェブにて「私の好きなわらべうた」、平凡社ウェブにて「山姥のいるところ」、「すばる」(集英社)にて「あのころのバラオをさがして」、高知新聞にて「時には旅に、資生堂花椿ウェブで「銀座時空散歩」を連載中。8月リリースの最新アルバム「私の好きなわらべうた」では、日本各地で消えつつあるわらべうたの名曲を発掘、独自のアレンジを試みている。



2009年バンドGEZANを大阪にて結成。作詞作曲をおこないボーカルとして音楽活動開始。

2011年沈黙の次に美しい日々をリリース。全国流通前にして「ele-king」誌などをはじめ各所でソロアーティストとしてインタビューが掲載されるなど注目が集まる。

2014年、kiiiより2ndアルバムPOPCOCOON発売。

2014年には青葉市子とのユニットNUUJAMMを結成し、アルバムを発売する。

2015年にはpeepowという別名義でラブアルバムDelete CIPYをK-BOMBらと共に制作、BLACK SMOKER recordsにてリリース。

また音楽以外の分野では国内外のアーティストを自身のレーベル、十三月の甲虫でリリースしたり、野外フェスである全感覚祭やZINE展を主催したりとボーダーをまたぎ自由なスタンスで活動している。

マヒトウ・ザ・ピーポー



ソケリッサ!

演出を行うダンサー・振付家アオキ裕キが「生きること」に日々向き合う身体を求め路上生活経験を持つ参加者を集めた活動。

2005年よりビッグイシュー基金の協力のもとメンバーを募り、第一回公演「新人Hソケリッサ!」を2007年に行う。十和田市現代美術館、大野一雄フェスティバルに出演。慶応大学など学生へ向けての講演、寿町の幼稚園などにおいて子供たちへ向けたパフォーマンスまで多様な活動を行う。

2015年にシンガー寺尾紗穂さんとコラボレーション、クラウドファンディングで集まった寄付により日本全国13ヶ所でのツアーが実現。身体記憶を生かした動きから見える景色、路上生活経験の身体による芸術活動の展開は、社会性を含んだ幅広い可能性を持ち大きく注目されている。



原田郁子

1975年福岡生まれ。

1995年「クラムボン」を結成。歌と鍵盤を担当。バンド活動と並行してソロ活動も行っており、これまでに「ピアノ」「気配と余韻」「ケモノと魔法」「銀河」、4枚のソロアルバムを発表。

2010年5月には、妹らと吉祥寺に多目的スペース「キチム」をオープンさせる。

昨年で結成20周年を迎えたクラムボンは、メジャーレーベルを離れ、自身のレーベルより、流通を過ぎず、ツアー会場のみで販売されるミニアルバム「モメントe.p.」を発表。新曲を生演奏し、可能な会場すべてでサイン会を行う、初の完全「手売りツアー」を開催した。

現在、公式サイトではCD販売店を募集しており、ジャンルを問わず150以上の店舗が取り扱うなど、ユニークな広がりを見せている。

<http://www.clammbron.com/>



知久寿焼

ギター、ウクレレ弾き語り。地味なテンポでさびしい歌ばかりうたう。

1965年2月10日埼玉県川口市生まれ。

2003年バンド「たま」解散。

へっぽこオーケストラバンド「バスカルス」ウクレレ、口琴担当。



二階堂和美

天真爛漫～自由奔放というイメージから神秘的、叙情的、そして時には狂気(!)な雰囲気までも併せ持つシンガー。

大所帯から小編成まで、どんなスタイルでもブレない歌のタフさが、ミュージシャンから子ども、昔のおばちゃんまで、幅広い層から愛されている。

2004年に地元広島へ戻り、現在までに単独として12作品を発表。中でも全曲を作詞作曲した 2011年発表の「にじみ」がきっかけとなりスタジオジブリ映画「かくや姫の物語」の主題歌(「いのちの記憶」作詞作曲・歌唱)へ起用されるなど、広く知られるところとなるが、当該曲のイメージだけでは、とうい吸まりきらない音楽のふり幅、ライブでの圧倒的なパワーは必見。

現在放送中の「サッポロ一番」のCMでは歌唱とナレーションを担当。地元では、市のイメージソング制作や、中国新聞でのエッセイ連載など、地域に密着した活動も展開中。

初となるライブDVD「二階堂和美 歌のパレード?いつのまにやら15年?」がライブ会場限定で発売中。

